

講演会案内

Philippe Berthier教授（パリ第三大学）

「Stendhal et Racine」

通訳：小野潮教授（中央大学）

日時：2009年6月2日（火）15:30-17:00
（終了時間は変更の可能性あります）

会場：東北大学・川内南キャンパス・文科系総合研究棟11階
大会議室

主催：

東北大学大学院文学研究科
フランス語学フランス文学専攻分野

問い合わせ先：阿部宏（hrshabe@sal.tohoku.ac.jp）

フィリップ・ベルティエ先生はパリ第三、新ソルボンヌ大学のフランス文学の教授である。その主たる研究対象はスタンダールであり、プレイヤッド叢書で新たに出版される3巻本のスタンダールの小説全集を共同編纂している。彼はスタンダール研究誌『スタンダール年報』の創刊者であり、編集責任者を務めている。スタンダールについて8冊の単著を公刊しており（もっとも最近のものは『鏡に映されたスタンダール：フランスにおけるスタンダール研究、スタンダール愛好の歴史 1842-2004』、シャンプイオン書店）、スタンダールの伝記を最近書き終えたばかりであるが、こちらは近々ガリマール書店から出版予定になっている。